

【数学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

数学は人類が長い年月をかけて築き上げた学問であり、真理の探究を通して文化を豊かなものとし、文明の進歩を支えてきました。高度に進化し、範囲を広げながら発展する現代数学は、その普遍性から諸科学の礎としての役割も果たしています。

数学科では、世界共通の理論体系を備えた現代数学の基礎を学び、培った数学的能力や科学的素養などをもとに、社会のさまざまな分野において活躍できる人材を養成することを目標とします。下記の能力を有すると認めた学生に対し、学士の学位を授与します。

【知識・理解】

- ・現代数学の基礎理論における数学的概念を正しく理解している。
- ・修得した理論や知識を正しく運用し、問題解決等に役立てることができる。

【論理的思考力】

- ・数学の学修等を通して、論理的に分析や考察を行うことができる。
- ・抽象的な概念を具体化して適切に扱うことができる。

【汎用的技能】

- ・必要に応じて計算機を活用し、学習等に役立てることができる。
- ・身につけた知識や概念を工夫して他者に正しく伝えることができる。

【態度・志向性】

- ・多様な知識に対する価値を理解し、尊重できる。
- ・向上心を持って積極的に学ぶ姿勢を有し、主体的な学習ができる。

本学科においては、難しい概念の理解を伴う数学科目、数学が関係している事象を含む科目等を意欲的に履修することを推奨し、学生が積極的に学ぶ姿勢を適切に評価しうるような卒業認定基準を設けます。